



議会 だより

千早赤阪

一般質問

田村 陽

公約である給料カットは実現しないのか
参与の職務とは

関口 ほづみ

コロナ感染第3波への緊急対策について
役場の機構改革について

千福 清英

村の強靱化に向けての策定計画の進捗は
災害後の復旧に向けての計画は

井上 浩一

地域公共交通実証実験の現状
鳥獣被害対策の現状と課題

藤浦 稔

南本村政にとって参与職は必要なのか
事の重大さが分かっていない

山形 研介

新庁舎建設の見通しは
大雨後の地震災害について

vol. **135**
Feb 2021
12月定例会

12月定例会 議決結果

○賛否の分かれた案件

各議員の審議結果 ○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席 議…議長	結 果	田中 博治	関口 ほづみ	井上 浩一	田村 陽	千福 清英	藤浦 稔	山形 研介
・議案第76号 令和2年度千早赤阪村一般会計補正予算（第9号）に対する附帯決議について	原案可決	議 ○	●	●	○	●	○	○

○全会一致で承認・可決された案件

・専決処分（令和2年度千早赤阪村一般会計補正予算（第8号））の承認を求めることについて
・専決処分（令和2年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計補正予算（第1号））の承認を求めることについて
・教育委員会委員の任命について
・千早赤阪村の議会議員及び長の選挙における選挙公報の発行に関する条例制定について
・村長、副村長及び教育長の期末手当の特例に関する条例制定について
・地方税法の一部改正に伴う延滞金の割合等の特例に係る関係条例の整理に関する条例制定について
・千早赤阪村事務分掌条例の改正について
・議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について
・特別職の職員の給与に関する条例の改正について
・一般職の職員の給与に関する条例の改正について
・千早赤阪村会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の改正について
・千早赤阪村国民健康保険事業財政調整基金条例の改正について
・千早赤阪村介護保険事業介護給付費準備基金設置条例の改正について
・千早赤阪村ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例等の改正について
・千早赤阪村国民健康保険条例の改正について
・令和2年度千早赤阪村一般会計補正予算（第9号）
・令和2年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
・令和2年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算（第2号）
・令和2年度千早赤阪村一般会計補正予算（第10号）
・動産の取得について（給食センターの消毒保管機5台）

○報告・諮問案件

・平成29年度及び平成30年度健全化判断比率の修正について
・人権擁護委員候補者の推薦について

意見書採択

・不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書について

12月18日の最終日において意見書が採択され、関係機関へ送付いたしました。



村議会議長
田中博治

日頃は、村議会に対し、ご理解とご協力を頂き、本当にありがとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスが猛威を振るった二年でありました。

村民の皆様におかれましても、大変な一年を過ごされたのではないかと思います。

ところで昨年末に事件が発生しました。役場のホームページに「11月6日の午後3時34分に役場をガソリンにて放火する」旨の投稿があり、警察や消防と連絡をとり、役場周辺警備にあたって頂きました。

幸い放火予告は実行されませんでした。消防団より「放火予告の午後3時前に南本村長を探したが不明であった」と

の知らせがありました。

役場に問い合わせたところ、放火予告の2時間前の午後1時に大阪市内に行っていたことがわかりました。村長に当日の行動を尋ねると午後5時まで会議に参加、午後6時には市内のホテルにて、代議士のパーティに出席、午後10時前に帰庁したとの答弁でした。

放火予告事件の最中に9時間も役場を不在にしたことについて、村民はどう思われるのでしょうか。

村長は、職員に指示して役場を出たようですが、役場内には135名ほどの職員が働いています。

放火がある、なしにかかわらず、この非常事態では、役場内において総指揮をとるべきであったと思われれます。

全員協議会（抜粋）

令和2年11月4日

1、参与の任用と新聞報道

参与の任用に関する村長の虚偽答弁に対し、大阪府から嚴重抗議があったことが報告され、村長より謝罪と訂正が行われた。

2、千早赤阪村応援商品券事業

事業者の換金回数を4回から10回に変更したこと、またそれにもない役場での換金に変更されたことが報告された。

全員協議会（抜粋）

令和2年12月11日

1、村道西峯学校線災害復旧工事

想定を超える湧水に対応するため工法を変更すること、また3月末の竣工を目指すことが報告された。

2、道の駅「ちはやあかさか」施設貸付候補者選考

道の駅「ちはやあかさか」の建物・土地の貸付に関し、2者の応募があり、選考の結果が報告された。



村道西峯学校線災害復旧工事現場
(令和3年1月11日撮影)

今月の表紙



峯 梨那 ちゃん
(みね りんな)

4歳6ヵ月

峯 蓮那 ちゃん
(みね はすな)

1歳6ヵ月

毎日、沢山の笑顔と幸せをありがとう

これからも姉妹仲良く成長してね!!

父：拓真 母：香里

表紙写真 大募集!!

千早赤阪村議会だよりの表紙を飾っていただける
お子様の写真を募集しています。

【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真。(複数人でもかまいません。)

【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話またはE-mailにてご連絡ください。

議会事務局 ☎ 0721-26-7168 E-mail iken@vill.chihayaakasaka.lg.jp



公約である給料カットは実現しないのか



給与を何%に下げるとは書いていない



田村 陽 議員

大阪府内の市町村長給与（昇順）

1	泉佐野市長	516000
2	忠岡町長	567000
3	豊能町長	574000
4	堺市長	595000
5	熊取町長	608000
6	岸和田市長	643500
7	四条畷市長	644000
8	田尻町長	652000

単位：円（東洋経済 ONLINE より抜粋）

(参考)	千早赤阪村長	750000
	千早赤阪村議会議員	300000

問 村長は選挙時の公約において「村長給与の削減」と題し、「村長の給与と退職金を見直し、減額します」と明言している。このうち退職金の減額は条理化されたが、給与の減額についてはいまだ実現していない。7月

答 給与を何%に下げるとは書いていない。
問 選挙時のピラには「村長給与の削減」と書いてある。村民は当然「給与の削減も公約だ」と考えるのでは。
答 給与を何%に下げるとは書いていない。

の村長就任以後給与は満額支払われており、いわば公約違反の状態が続いている。村長は給与の減額についての公約を守らないのか。
答 見直した結果退職金を50%カットしたということ。公約違反という認識はない。

問 選挙前には「給与70万は高すぎる。言語道断だ」と言っていた。今は言語道断ではないと考えているのか。
答 考えをまとめてから報告する。

要望 公約は住民との約束だ。実現するよう努力するのが誠実な姿なので。

参与の職務とは

問 新設された参与に関し、全員協議会にて説明があった。その中で西口氏が現在担当している業務としてIT化の推進と診療所のあり方検討が挙げられているが、それぞれの具体的な内容を伺う。

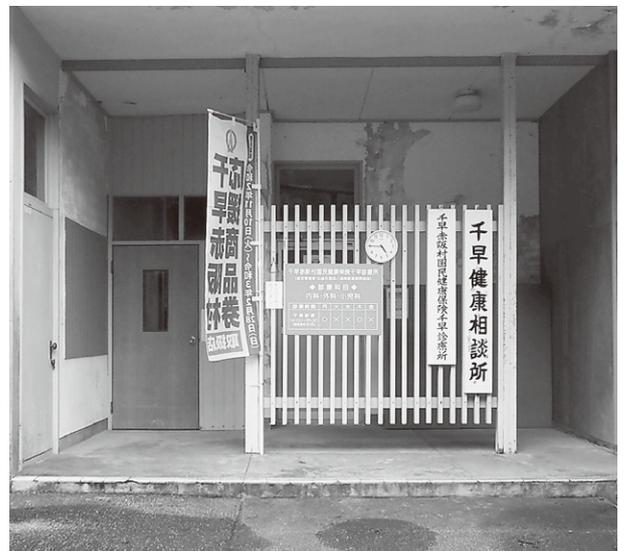
答 「IT化の推進」について、本村は高齢化率が4割を超える過疎地であり、高齢者の日常生活におけるITの活用は、村民の生活支援に役立つものと考ええる。

本村が独自にIT化を進めていくことは財政的に非常に厳しいため、国に財政面での支援を要望した。

問 タブレット配布との関連は。また診療所の廃止まで含めて検討しているのか。
答 タブレット等を各家庭に配布できるシステムを必ず作っていきたい。診療所の廃止も含めて考えている。

「診療所のあり方検討」について、現在国民健康保険診療所と千早診療所を指定管理者制度により運営している。黒字経営は見込みにくい状況にあり、村からの繰入金に頼らざるを得ない状況だ。老朽化している千早診療所も含め、診療所のあ

要望 配布しても住民が使いこなせなければ意味がない。財政的負担を考えると厳しいのでは。



千早診療所



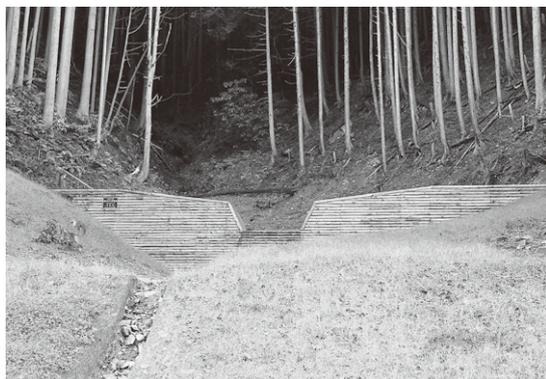
千福清英 議員

問

村の強靱化に向けての策定計画の進捗は

答

村の強靱化地域計画は策定に向け、 村の取り組みを検討している



山地災害対策（例）

問 国において国土強靱化計画が策定されており、それを受け、大阪府においても大阪府強靱化地域計画が策定されている。

答 重要な取り組みについては、大規模な地震の発生を想定した場合は、現庁舎は倒壊の恐れがあるため、新庁舎の建設計画が重要であると考えている。

問 近年の風雨災害による土砂災害等の復旧が未だされていない所が見受けられる。その一つとして楠公産湯の井戸は以前の台風の影響で立入禁止となっている。復旧計画を伺う。

答 伝承の残る産湯の井戸については、担当課と現場確認し、

問 産湯の井戸は文化財でも史跡でもないが、地元住民や楠公史跡保存会による保全活動が行われている。また、教育委員会への文化遺産の冊子に掲載されている。それにも関わらず3年たっても何もやっていない。村長の見解を伺う。

答 今後、楠公史跡保存会との連携等一層深め、文化遺産を生かした地域活性化に取り組んで行くよう要望する。

し、実施する責務があると思うが進捗を伺う。

答 市町村の区域における国土強靱化地域計画は、市町村の計画等の指針と定めることができている。本村も来年3月までにしたいと考えている。

要望 この計画を策定することにより、国において決定している補助金等の交付につながることを期待できる。

要望 村には下赤坂、上赤坂城址など多くの文化遺産がある。経年劣化による安全対策が必要な史跡・遺跡があるように思う。

また、危機管理の担当面からは、防災・減災対策として、土砂災害、浸水想定ハザードマップ

答 楠公産湯の井戸は楠木正成が生誕の際、産湯

として使用したという伝承の残る井戸である。以前は地元住民等による保全活動が行われ、近年は、楠公史跡保存会により遺跡の一つとして保全していただいている。平成12年には、遊歩道等の環境整備を実施した。復旧工事については、楠公史跡保存会と協議を行いながら整備の方法を検討している。

要望 村には下赤坂、上赤坂城址など多くの文化遺産がある。経年劣化による安全対策が必要な史跡・遺跡があるように思う。

答 伝承の残る産湯の井戸については、担当課と現場確認し、



産湯の井戸（現在立入禁止）

問

南本村政にとって参与職は必要なのか

答

村のために活躍してもらいたい



藤浦 稔 議員



大阪府は西口氏の採用に関し「困難」と回答している
(毎日新聞2020年10月10日発行)

問 西口参与は、副村長人事案を否決された人物でも何でもない、単に府を退職したOBだ。なぜあえてコロナ禍で大変な時、また、村の財政の厳しい中で高額な給料で採用する必要があったのか

答 大阪府勤務40年の経

問 西口参与は、副村長人事案を否決された人物でも何でもない、単に府を退職したOBだ。なぜあえてコロナ禍で大変な時、また、村の財政の厳しい中で高額な給料で採用する必要があったのか

答 副村長不在の中、村を良くするために補佐する人物が必要であった。西口氏は、十分に府とのパイプ役と考えている。

問 11月6日に発生した「役場放火予告事件」に関して、警察・消防・職員などで警戒の中、会議で午後から警備の最高責任者である村長が不在であったことについて、12月11日の議会で、日本共産党議員が

○ 放火予告は、他の市町村でも頻繁にあり、

○ 援護発言してもらって強調しておく。

事の重大さが分かっていない

○ 消防・警察が警戒している。

答 議員それぞれから個人的に評価してもらっている。合う合わないは様々ある。

問 村政全般にわたって見るように指示している。村にとって必要な人材であり、今後も村のために活躍してほしいと考えている。

○ 村長不在でも参与がない。

○ 迷惑な余計な発言と

歴で、なぜ副村長職を否決されたのか分からない。

問 南本村政にとって、西口参与の仕事は、村長の「特命の仕事」をしているとのことであるが、特命とはどのような仕事か。

答 村政全般にわたって見るように指示している。村にとって必要な人材であり、今後も村のために活躍してほしいと考えている。

村政の提案箱

村のみならずからの村政へのご提案を募集しています。

回答にあたっては、ご意見の内容について、メールの他、電話などでさらに詳細にお聞きする場合があります。そのため、回答を掲載される方は、名前、住所など連絡先をご記入いただきますようお願いいたします。これらの記入がない場合は、回答ができないことがあります。

なお、内容によっては、お返事にお数日かかる場合がありますのでご了承ください。また、国や府に関することについては、村から直接お答えできませんので、それぞれ、国や府にお問い合わせください。参考のために所轄する他官公署（大阪府等）へ送付させていただきます。

特定の個人や団体を誹謗・中傷するもの、企業などの営業活動、政治・宗教等に関するもの、営業メールやアンケート調査メール等はお受けできません。ご意見内容の確認や村からの回答の送信に利用し、他の目的には利用いたしません。

村政の提案箱の表組みです。

メールアドレス	(入力必須) 確認のため、再度入力してください。
お問い合わせ内容	(入力必須)

確認画面へ進む

村 HP (村政の提案箱) 放火予告が投稿された



山形研介 議員

最終検討結果は、1月に庁舎建設検討委員会及び議会の特別委員会にて報告する。

最終検討結果は、1月に庁舎建設検討委員会及び議会の特別委員会にて報告する。



避難所（千早小吹台小学校体育館）

問 新庁舎建設の見通しは

答 新しい生活様式を意識した庁舎に



千早赤阪村役場庁舎

問 就任の挨拶の中で庁舎建設を見直したいとの発言があり、また、第19回千早赤阪村庁舎建設検討委員会においても、コロナウィルス蔓延により再検討したいとのことだが、建設への見直しはいかがか。

答 所信表明、そして庁舎建設検討委員会でも、過疎地域自立促進特別措置法が本年度末で期限が切れ、コロナ禍で歳入減少、歳出増加等が考えられ、アフターコロナの時代に向けた新しい生活様式を意識した庁舎に。現在のところは、過疎関連について、新たな過疎法が制定される予定であり、コロナ関係の一般財源の支出も最小限に抑えられる状況である。

問 最終報告を1月の両委員会とのことであるが、9月28日庁舎建設検討委員会での再検討事項で、新庁舎計画には1億3千万円支出、ロープウェイの問題解決、コロナ対策の財政見直し、アフターコロナ、ウィズコロナに対応したスペースの有効利用とのことだがいかがか。

答 建設費は、10億円程度、アフターコロナの新しい生活様式での庁舎へ、「密」を避けるため職員一人あたりのスペースを増し、執務室・議場などは「ゆとり」を持たせ、現庁舎の増築部分の有効利用は検討中である。

問 大雨後に地震が起きると災害が大きい。どうしたら住民が過ごしやすい避難所になるかを伺う。

答 現在、避難所は、小学校2校の体育館とB&G海洋センター等の6カ所であり、長期間にわたり避難所生活を強いられることになるので、協力企業との協定等避難所の体制づくりにつとめていく。

問 今後、協力企業を増やすことと断水状態になった時の補給策として備蓄タンクの設置は。

答 協力企業については調査研究を行い増やしていく。備蓄タンクの設置の計画はない。

問 協力企業名と避難所の運営は。

答 サンプラザ・大阪府LPガス・いずみ生協等の6社で物資の供給等である。

大雨後の地震災害について

問 大雨後に地震が起きると災害が大きい。どうしたら住民が過ごしやすい避難所になるかを伺う。

答 現在、避難所は、小学校2校の体育館とB&G海洋センター等の6カ所であり、長期間にわたり避難所生活を強いられることになるので、協力企業との協定等避難所の体制づくりにつとめていく。

問 今後、協力企業を増やすことと断水状態になった時の補給策として備蓄タンクの設置は。

答 協力企業については調査研究を行い増やしていく。備蓄タンクの設置の計画はない。



コロナ感染第3波への緊急対策について



大阪府・保健所と情報を共有し対応する



関口ほづみ 議員



村内診療所

問 感染が拡大するなか、政府の対応は、国としての具体策を示さず、国民に自助を求めるばかりだ。

答 大阪では全国最悪の規模と速度で感染が広がり、医療崩壊に直面している。村での、感染拡大の広がりは見られないが、住民は風邪の症状が出たらコロナへの不安を抱く。村での対応はどうなっているのか。

の財政支援や苦境の観光・旅行業、飲食業に直接支援するべき」と批判がある。

う有効な取り組みを求めたい。

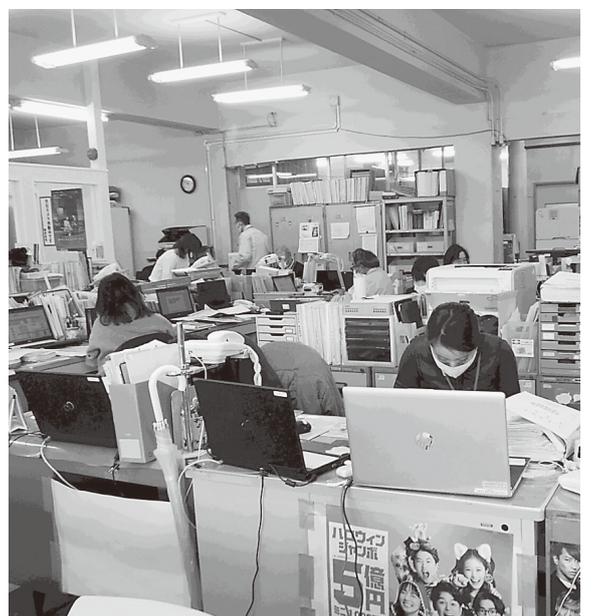
府に対して、PCR検査の大規模実施を行うよ

役場の機構改革について

問 機構改革で、これまでの危機管理室を災害対策や新型インフルエンザなどに対応できる一つの課として対応することにしました。「住民にわかりやすい名前に変更し、村の課題に正確に対応してい

また今「自助・共助・公助」の名で、自己責任を第一にして、憲法の生存権をないがしろにする傾向がある。

答 公助の役目として、今後起こりうる土砂災害、浸水想定などハザードマップの更新や避難所の資機材・食料等、災害に対する備え。自助・共助については、自主防災組織の育成、民間企業との災害協定など危機管理の対策など、あらゆる災害に対応できる体制づくりと防災に強い村づくりをすすめたい。



役場執務室

問

地域公共交通実証実験の現状

答

より良い実現に向けて取り組む



井上浩一 議員

地域公共交通

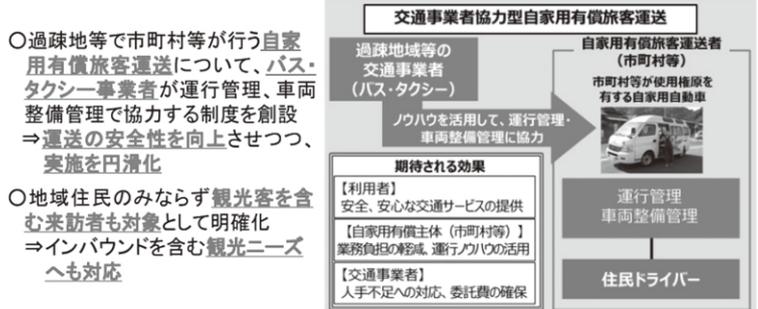
通については、現在実証実験を行っているが、現状の利用状況や反響はどうか。

住民の要望に對し現状でも格差があり、解消は困難と思うが村としてどう考えるか。

今年度からバス利用料助成を行っている、利用申請者は昨年度比、現在10%増で利用者は10%減となっているが、コロナウイルスの影響と考える。

今後は協議会や総合計

自家用有償旅客運送の実施の円滑化



国土交通省ホームページより

旅客運送が該当するが、既存事業の維持が重要。現在具体的な要望はないが必要があれば行う。

住民アンケートは頻繁にとっているが、對話し、意思疎通を図る事が重要だ。できうる限りそのような場をもうけ、理想に沿うように願う。

鳥獣被害対策の現状と課題

鳥獣被害対策実施隊について伺う。

- ① 活動内容と実績
- ② 現状の課題とこれからの展望
- ③ 関連団体との連携は

8月から活動、隊員は17名、箱わなを30カ所設置、11月現在30頭捕獲している。

隊員の大半が初心者、本業があるので専念できないのが課題。展望として耕作放棄地の解消等、総合的な対策が必要。関連団体との連携は各

地区の区長・JA大阪南・農業委員会に尽力頂いている。

今後は、有害鳥獣対策協議会で議論し防止計画に反映する。

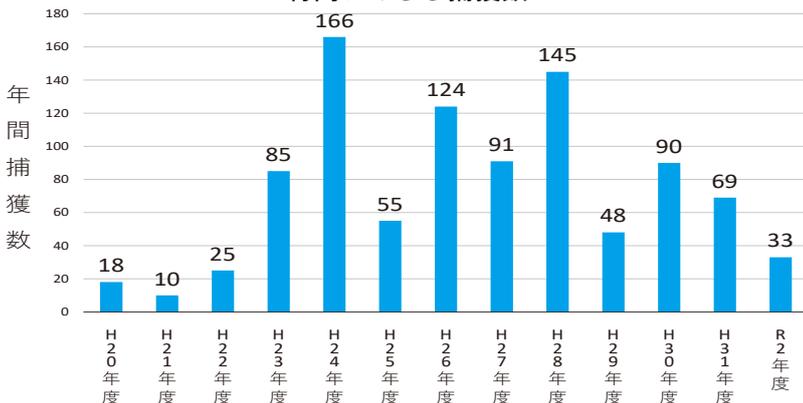
隊員は本業があり、日当2千円の活動は負担ではないか、隊員数は十分か、増員の予定は。耕作放棄地と人家付近に来る個体の対策は無いのか伺う。

3班に分けて活動しているが、範囲が広く、将来的に各地区に設置が出来ればと考える。

活動報酬は府や国に増額の要望を行う、耕作放棄地の抑制・里に来る個体の対策も必要と考える。

捕獲した個体は埋設処理との事だが、焼却の検討も必要だ。

村内のしし捕獲数



千早猟友会は解散されたがノウハウの継承は出来ないか。

焼却は民間での検討をしている。猟友会は個人で数頭の捕獲やノウハウの伝承等に協力を頂いている。

耕作放棄地は最低限の維持管理が必要だ、住民福祉の増進の立場で取り組みを！

ぎかいの窓

「千早赤阪村応援商品券」の使用期限がもうすぐです

新型コロナウイルス感染の拡大が未だ衰えることなく、広がっています。

村においては様々な施策、対策が実施され住民の皆様にご理解とご協力をいただいているところですが、

その施策の一つとして、村より「千早赤阪村応援商品券」が届けられています。

感染症による消費の減少の緩和や、村内の店舗等に向け消費喚起をすること、村民への財政的な支援をすることなどが目的となっています。

全村民に届けているこの商品券の使用期限が、令和3年2月28日となっています。今一度確認していただき使用忘れの無いようにしましょう。

私たちは、コロナ禍においての、

新しい生活様式の対応が求められるなか、より良い施策に向け検討してまいりますのでご理解をお願いいたします。

そのようななか、3月25日には、1年延期された東京五輪の聖火リレーが福島県よりスタートします。開会式が行われる7月23日までの予定となっており、このリレーによってコロナウイルスが吹き飛ばされることを祈るばかりです。



応援取扱店ポスター



応援商品券取扱店のぼり

議会を傍聴 しませんか？



次回定例会の予定

2月25日(木)から3月15日(月)です。

2月25日 本会議 午前10時

3月15日 本会議 (一般質問)
午前10時

このほか、各委員会なども開かれます。

上記日程は新型コロナウイルスの状況により変更になる場合があります。傍聴についてもお断りすることがあります。

(議会事務局 ☎0721-26-7168)

議会事務局は保健センター2階、議場は3階集団指導室兼議場です。

雑感

この議会だよりが配布される頃の世界の状況はどうだろうか？

令和2年はコロナウイルスの感染拡大が世界を大きく変貌させた、今までの常識は非常識になり、考えもしなかった事態を受け入れるしかなかった。

今、原稿を書いているのは令和2年12月23日。ワクチンの投与が海外で

始まったニュースが流れ日本では、医療崩壊の危機が報道され、年末年始の様々な行事も中止になり、一つの山場を迎えているようだ。

過ぎ行く時間は待つてはくれない。

令和3年は、新しい時代の出発点にしていかなければならない、自分自身も日々新たにスタートできているか、これを読み、再確認の一助とし決意も新たに頑張りたい。

K・I

広報編集委員会

委員長	田村 陽	副委員長	関口ほづみ
委員	井上浩一	委員	千福清英
議長	田中博治		